株式会社オールアバウト

はじめてのオールアバウト

(新規投資家様向け説明資料)

2022年2月28日更新

当資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を 保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能 性があることをご承知おきください。





- 1.企業概要
- 2.事業概要

- 3.直近の決算概況
- 4.業績見通し
- 5.株主還元施策
- 6.ESG/SDGsの取り組み
- ※参考資料

1.企業概要

1.企業概要



会社名	株式会社オールアバウト (All About, Inc.)
本社所在地	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-15-1 A-PLACE恵比寿南3F
主な事業内容	・専門ガイドによる総合情報サイト「All About」の運営 ・インターネット広告事業
事業開始	2000年6月
資本金	12.85億円 (2021年12月末現在)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)(証券コード:2454) *上場日 2005年9月13日
主要株主	日本テレビ放送網株式会社 株式会社NTTドコモ
従業員数	約130名(グループ全体約270名)

1.企業概要~代表プロフィール





代表取締役社長兼グループCEO 江幡哲也(えばた てつや)

- 1965年 生まれ、神奈川県出身
- 武蔵工業大学(現 東京都市大学)電気電子工学科卒業
- 1987年 株式会社リクルート入社。エンジニアとして キャリアをスタートし、IT系を中心に5つの新規事業 立上げや、海外IT企業への事業投資、M&A等を担う
- 2000年 株式会社オールアバウト創業
- 2005年 JASDAQ上場
- 2006年講談社から「アスピレーション経営の時代」を発刊
- 農林水産省 文部科学省 インバウンド系委員
- 新経済連盟創設より幹事

1.企業概要~役員構成





取締役 土門 裕之



取締役 岡田 泰三

社外



取締役CAO 森田 恭弘



取締役 前田 義晃



取締役メディア事業部長 宮﨑 秀幸



取締役 武田 健二



【ビジョン】

個人を豊かに、社会を元気に。

個人のチカラをベースに、世の中の不合理・不条理をなくし 既存の情報流・商流・製造流や社会システムをあるべき姿に変える イノベーションプラットフォームとなることで、 経済的発展と持続可能な社会の両立に貢献する。

【ミッション】

システムではなく、人間。

われわれは、人が持つ、想いや技術・ノウハウそして創造性に着目し、 これを引き出し、個人が活躍する場を提供し、ともに事業化をすることで、 変化の激しい社会において常に価値のある事業を提供し続けます。

1.企業概要~株主構成



■株式の状況(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	45,162,000株
発行済株式総数	13,945,000株
株主数	3,762名

■大株主の状況(2021年9月30日現在)

氏名又は名称	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本テレビ放送網株式会社	3,385,000	24.94
株式会社NTTドコモ	2,093,100	15.42
株式会社リクルートホールディングス	984,900	7.26
大日本印刷株式会社	860,900	6.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	631,000	4.65
山口憲一	592,100	4.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	477,800	3.52
五味大輔	188,500	1.39
株式会社SBI証券	182,496	1.34
江幡哲也	178,182	1.31

(注)上記のほか、自己株式が372,200株あります。

1.企業概要~沿革



- 2000 ㈱オールアバウト設立
- 2001 人生を愉しむ大人のための情報発見サイト「All About Japan」(現All About) をオープン
- 2004 ヤフー株式会社と資本業務提携
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 大日本印刷株式会社と資本業務提携
- 2012 オールアバウトライフマーケティング(旧 ルーク19)を子会社化 ㈱コロネット(現 株式会社オールアバウトライフワークス)を子会社化
- 2013 新会社「㈱オールアバウトナビ」の設立
- 2015 多言語による日本総合情報サイト「All About Japan」を開設
- 2017 オールアバウトが日本テレビ放送網㈱と資本業務提携 オールアバウトライフマーケティングと日本テレビが新会社「日テレ・ライフマーケティング㈱」設立
- 2018 オールアバウトが㈱NTTドコモと資本業務提携
- 2020 オールアバウトライフマーケテイングがNTTドコモの総合通販サイト「dショッピング」の共同運営開始
- 2021 インターネット広告事業を展開する新会社「オールアバウトパートナーズ」を設立

1.企業概要~オールアバウトグループのセグメント



マーケティングソリューション

ToBビジネス

メディア&デジタルマーケティング事業

株式会社オールアバウト

All About

PrimeAd Best One

株式会社オールアバウトナビ

facebook navi ツイナピ

citrus

グローバルマーケティング事業

株式会社オールアバウト



コンシューマサービス

ToCビジネス

トライアルマーケティング&コマース事業

株式会社オールアバウトライフマーケティング



dショッピング

生涯学習事業

株式会社オールアバウトライフワークス

楽習フォーラム

1.企業概要~セグメント別のコアと戦略事業



コア事業

戦略事業







Best One







d ショッピング

楽習フォーラら

1.企業概要~セグメント別の売上構成





19%

マーケティングソリューション

ToBビジネス

2%

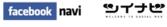
メディア&デジタルマーケティング事業

株式会社オールアバウト

All About

PrimeAd Best One

株式会社オールアバウトナビ



citrus

グローバルマーケティング事業

株式会社オールアバウト



コンシューマサービス

ToCビジネス

トライアルマーケティング&コマース事業

株式会社オールアバウトライフマーケティング



生涯学習事業

株式会社オールアバウトライフワークス

楽習フォーラム

2%

77%

2.事業概要マーケティングソリューション



■サービス紹介



ToBビジネス

メディア&デジタルマーケティング事業

株式会社オールアバウト

All About

PrimeAd Best One

株式会社オールアバウトナビ

facebook navi ツブナビ

citrus

グローバルマーケティング事業

株式会社オールアバウト



コンシューマサービス

ToCビジネス

株式会社オールアバウトライフマーケティング

部**古**響店 **d**ショッピング

株式会社オールアバウトライフワークス

楽習フォーラム



■総合情報サイト「All About」



2001年 スタート

月間利用者2,000万人

ガイド数約900名

テーマ数 約1,300

信頼性

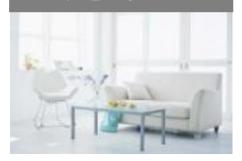
目利き・専門性

"専門家"がガイドする 国内最大級の 総合情報サイト



生活情報を中心に1,300に渡る幅広いテーマを発信





生活家電



ファッション

マネー

レシピ・グルメ



ペット・エンタメ



健康・医療



美容



国内・海外旅行

















クライアント (企業・団体)

タイアップ 広告出稿

コンテンツ提供

【その他のマネタイズ】

プログラマティック広告

オウンドメディア支援

その他 (アフィリエイト等)



コンテンツ制作 活動支援

ガイド(専門家)





各種広告 の配信

情報収集・ アクション









■All Aboutのガイドとは?



特定の分野に従事する専門家 「その道のプロ」 が約900名在籍



All Aboutには厳しい審査をクリアし、3つのスキルを有した特定分野の専門家があらゆるテーマに分かれたガイドサイトにて日々、専門性・信頼性の高い情報を発信し続けています。

医師、弁護士、税理士、一級建築士、FP(ファイナンシャルプランナー)、企業経営者、評論家、ジャーナリスト、コンサルタント、アドバイザー、コーディネーター、カウンセラー、デザイナー、編集者、ライター、エッセイスト、コピーライター、教師、講師…など。

意識

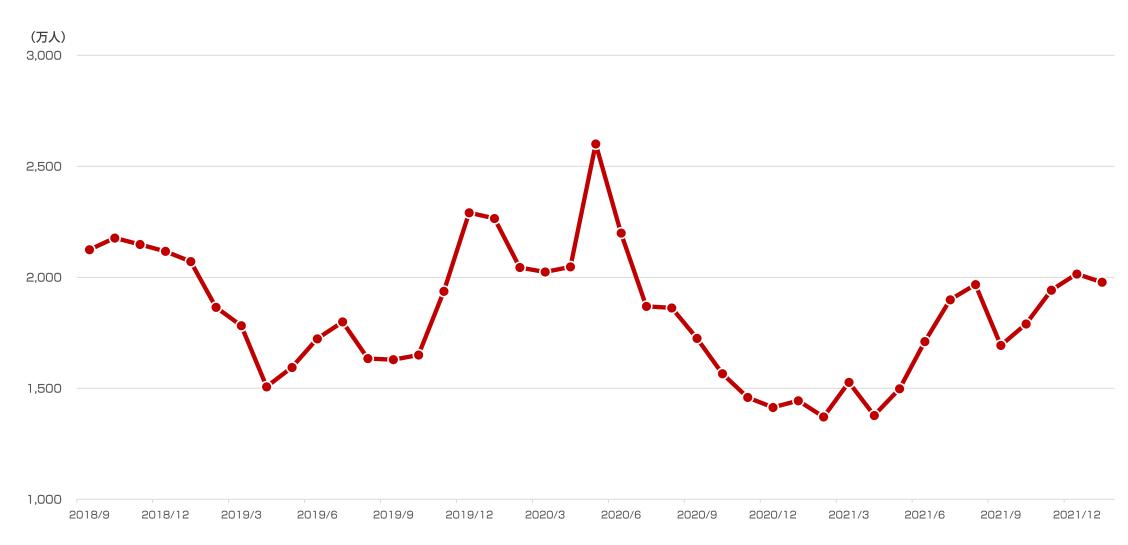
All Aboutの理念/ サービスへの共感/おもてなしの心/ ユーザ中心主義/バランス感覚

技術

ガイド(導く)スキル/ コミュニケーションスキル/ 文章表現力/業務遂行能力



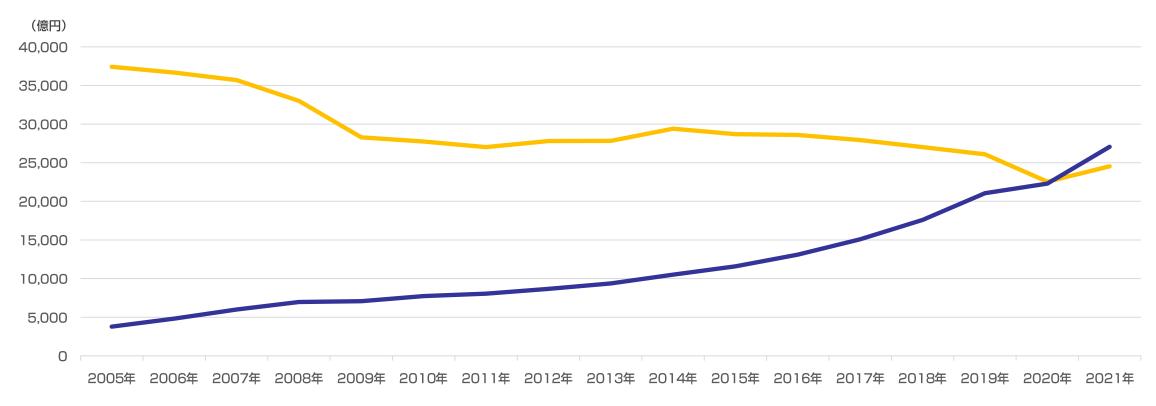
■All Aboutの月間総利用者数





■日本の広告費

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、広告市場は大きく回復。 インターネット広告費はマスコミ四媒体広告費を初めて上回り広告市場の成長を後押し。



出典:電通「2021年日本の広告費」



■All Aboutのコンテンツマーケティングとは



単にオウンドメディアを作ったり、タイアップ広告を打つことだけではなく

商品の価値をユーザーが発見すること

「知って、理解して、記憶する(=忘れさせない)こと。」

インサイトに刺さらない(自分事化)とユーザは記憶しない。

All Aboutが提供するコンテンツは5つの要素を重視して編集・制作しています





■メディアビジネス事業の拡大戦略

オールアバウトは従来の(

自社メディアビジネス

から

自社メディアビジネス



プラットフォームビジネス

へ進化する事業構造の転換期

PrimeAd

広告主、エージェンシー、メディア向けの「コンテンツマーケティング」における

ビジネスマッチングプラットフォームへ



■コンテンツマーケティングの6,000億円市場を 自社メディアとプラットフォームビジネスで取り込む

ポスト Cookie

アドフラウド 信頼性

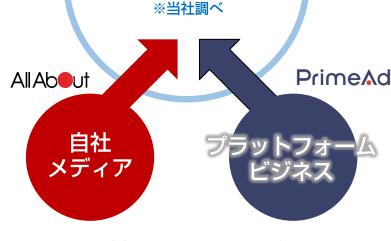
紙メディアからの デジタルシフト デジタル タイアップ広告 **1,000**_{億円}

ネイティブアド ネットワーク **2,000**億円

オウンドメディア& コンテンツ制作支援 **3,000**_{億円}

※当社調べ

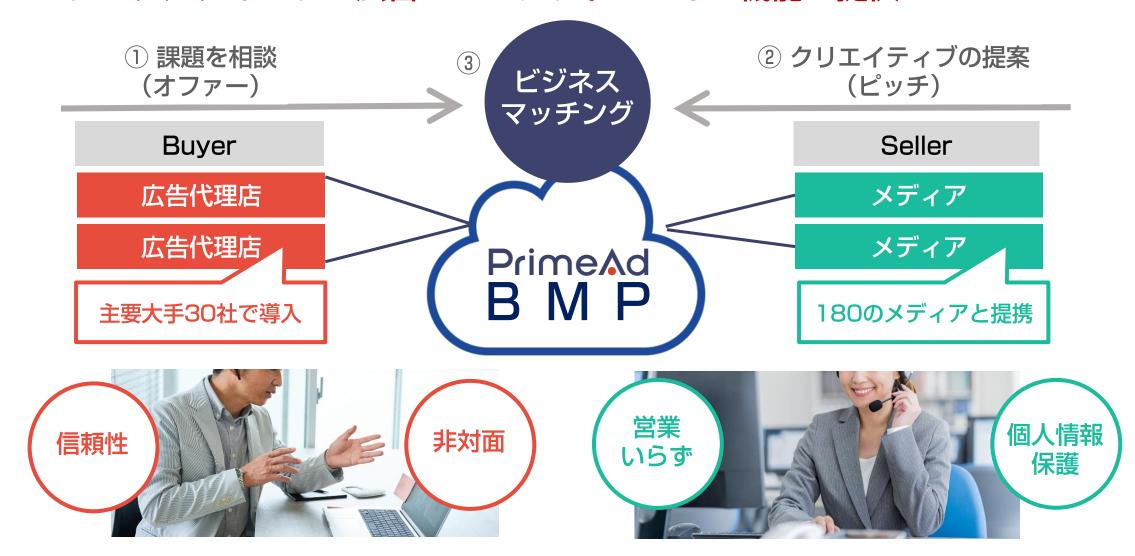
【コンテンツマーケティングの市場規模】 推定



の両軸でシェアを獲得、 マーケット拡大にも寄与する



■2020年7月より1stフェーズとして デジタルタイアップ広告のマーケットプレイス機能を提供





■PrimeAdのロードマップ

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度~

1st

BMPデジタル
タイアップ広告の
マーケットプレイス

タイアップ広告市場にフォーカスし

PMF*達成

タイアップ広告市場に おける**シェアの拡大** (マーケティング投資)

ブースト配信 ネイティブ アドネットワーク BMPを介した プレミアムメディア ネットワークのリーチを提供 流通総額 100億円

3rd オウンドメディア & コンテンツ 制作支援

タイアップ広告市場から 他領域への横展開 (PR、販促) 流通総額 XXX億円

2nd

2.事業概要~グローバルマーケティング事業



■訪日外国人向け日本情報サイト「All About Japan」



2015年9月にオープン

国内外に在住の500人の日本通な 外国人ライターをネットワーク

五ヶ国語(英・中・台・韓・タイ)対応

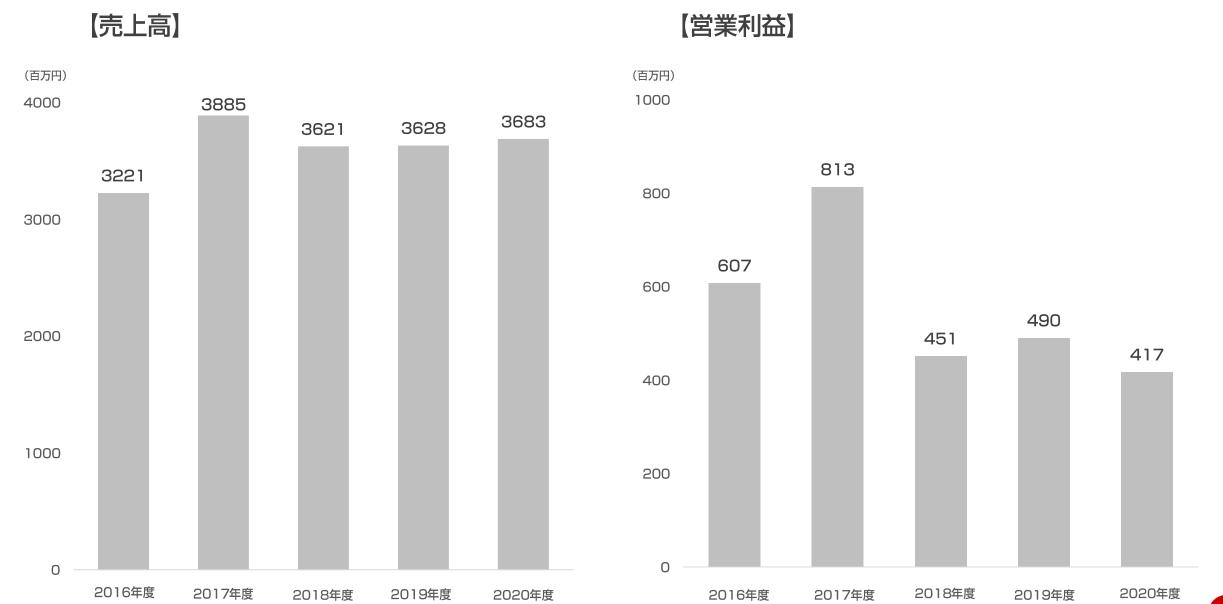
インバウンド情報を幅広く網羅

全言語ネイティブ編集者が記事作成

"日本"に関する グローバルメディアの No.1 ポータルを目指す

2.事業概要~マーケティングソリューション





2.事業概要コンシューマサービス



■サービス紹介

マーケティングソリューション

ToBビジネス

株式会社オールアバウト

AllAbout

PrimeAd Best One

株式会社オールアバウトナビ

facebook navi

citrus

株式会社オールアバウト



コンシューマサービス

ToCビジネス

トライアルマーケティング&コマース事業

株式会社オールアバウトライフマーケティング

部百當店

dショッピング

株式会社オールアバウトライフワークス

楽習フォーラム



■日本最大級のサンプリングサービス「サンプル百貨店」



「生活者の声」が集まる、広がるマーケティング支援サービス

30代~40代の主婦や働く女性を中心とした約330万人の「生活者」を抱える日本最大級のサンプリングサービス

様々な企業がWebとリアルで「サンプリング」、「お試し」を 通して豊かな消費体験の機会を提供する媒体として利用





結果レポート

- ・商品プロモーション
- ・ロコミ拡散
- ・商品改善
- ・生活者インサイトの把握



■NTTドコモ「dショッピング」 事業全体をオールアバウトライフマーケティングが共同で企画・運営





【強み】

- サンプリングサイトの運営ノウハウ
- ・商品調達力

docomo

【強み】

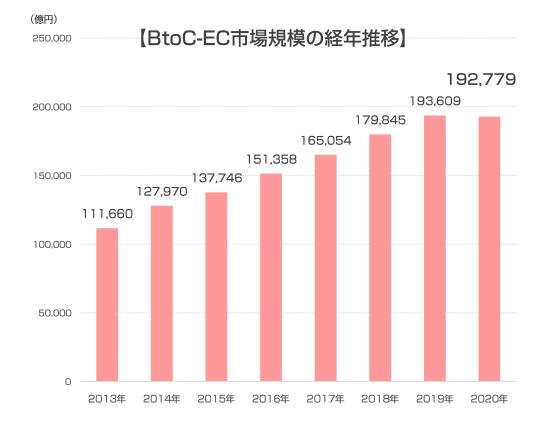
- ・dポイントを活用した eコマースビジネスの 運営ノウハウ
- ・強固な顧客基盤

共同で集客及び取扱商品の販売促進に努め本サイトの更なる拡大を目指す



■EC市場規模とEC化率

日本国内の(BtoC) EC市場規模は19.3兆円(前年19.4兆円、前年比0.43%減) 旅行などサービス系分野は大幅減少するも物販系は大幅な市場規模拡大につながった。 一方、EC化率は「書籍、映像・音楽」、「生活家電、AV機器、PC」が高く、 「食品、飲料、酒類」はまだ伸びしろが十分ある状況。

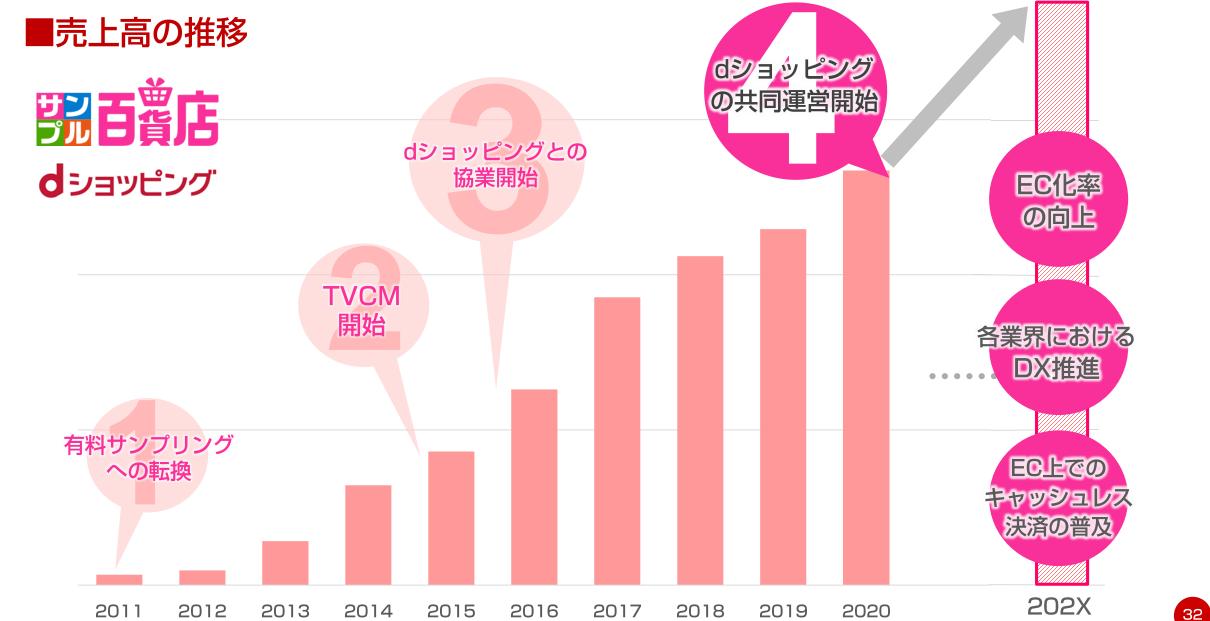


【物販系分野のBtoC-EC化率】

書籍、映像・音楽ソフト	42.97%
生活家電、AV機器、PC・ 周辺機器等	37.45%
生活雑貨、家具、インテリア	26.03%
食品、飲料、酒類	3.31%

出典:経済産業省「電子商取引に関する市場調査

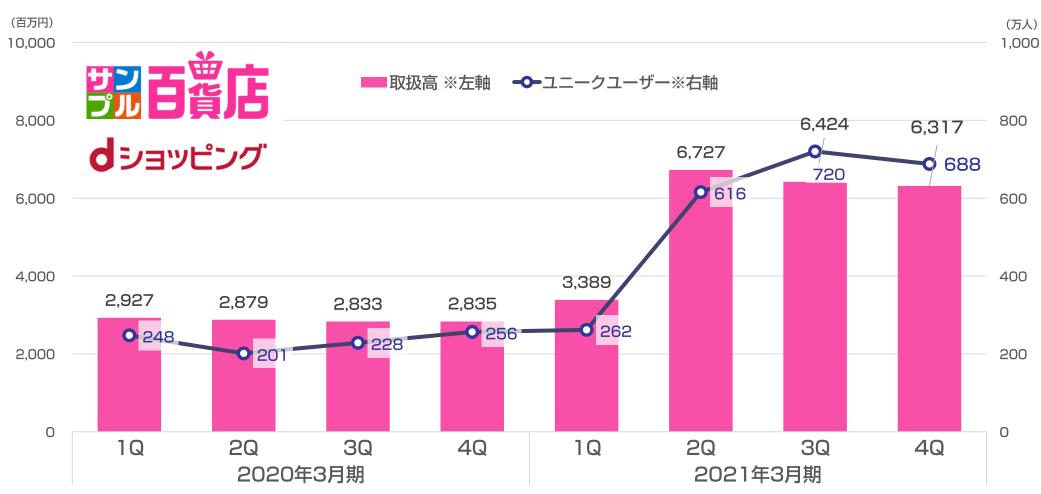






■取扱高およびユニークユーザー数の四半期別推移

1Qの巣ごもり特需に加え、2Q以降はdショッピングの加算により伸長



^{※2020}年7月以降はサンプル百貨店のほか、dショッピング事業の取扱高・ユニークユーザー数も含む ※ユニークユーザー数はQ末の数字を参照



■トライアルマーケティング&コマース事業の成長戦略

凯百賞店

トライアルマーケティング

新商品から在庫ソリューションまで 企業の新たな生活者接点を創出

dショッピング

総合通販サイト

基盤整備を推進し出店社支援を強化

マーケティングソリューション

オン/オフラインイベントやデジタルマーケティング支援メニューの拡張

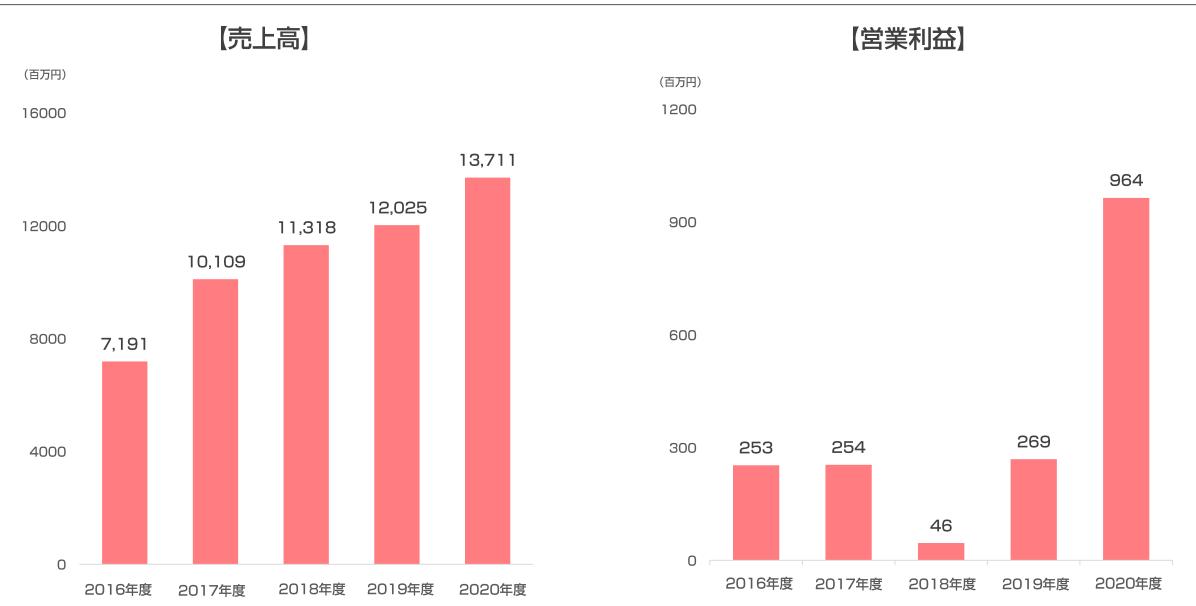
これら3つが揃う独自性を活かし

トライアルマーケティング&コマース

としてさらなる商品拡充と利用者拡大を推進

2.事業概要~コンシューマサービス





3.直近の決算概況

3.直近の決算概況 (2021年度) ~決算ハイライト



全体

- ✓ グループ全体の取扱高が298億円、前期比で+35%
- ✓ 3Q累計で前期比増収(+4% ※旧基準ベース)、減益(▲29%)

ここまでの 振り返り

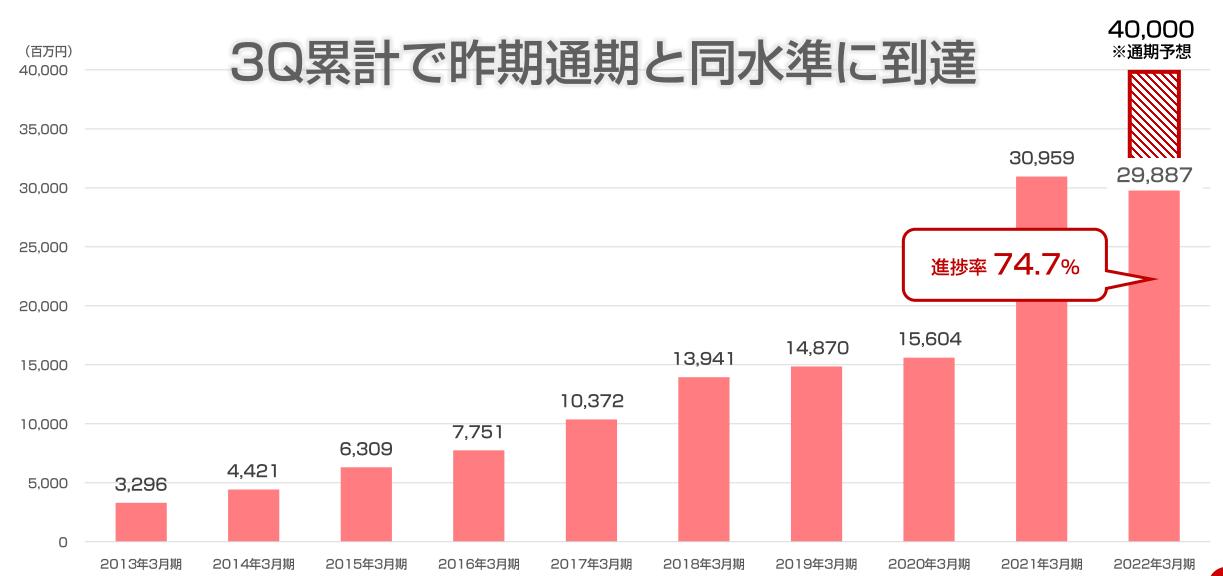
- ✓ 3Q累計売上は過去最高(10期連続増収ペース)
- ✓ 3Qに入りトライアルマーケティング&コマース事業の一時的な粗利低下、利益悪化

今後の見立て

- ✓ 3Qの一時的な利益悪化要因を解消し、通期予想水準に向けて進行中
- ✓ 今後はさらに成長分野への投資拡大を計画、取扱高の増大に取り組む L通期でPrimeAdへ1.5億円、d払いミニアプリ等へ1.5億円程度の投資を予定

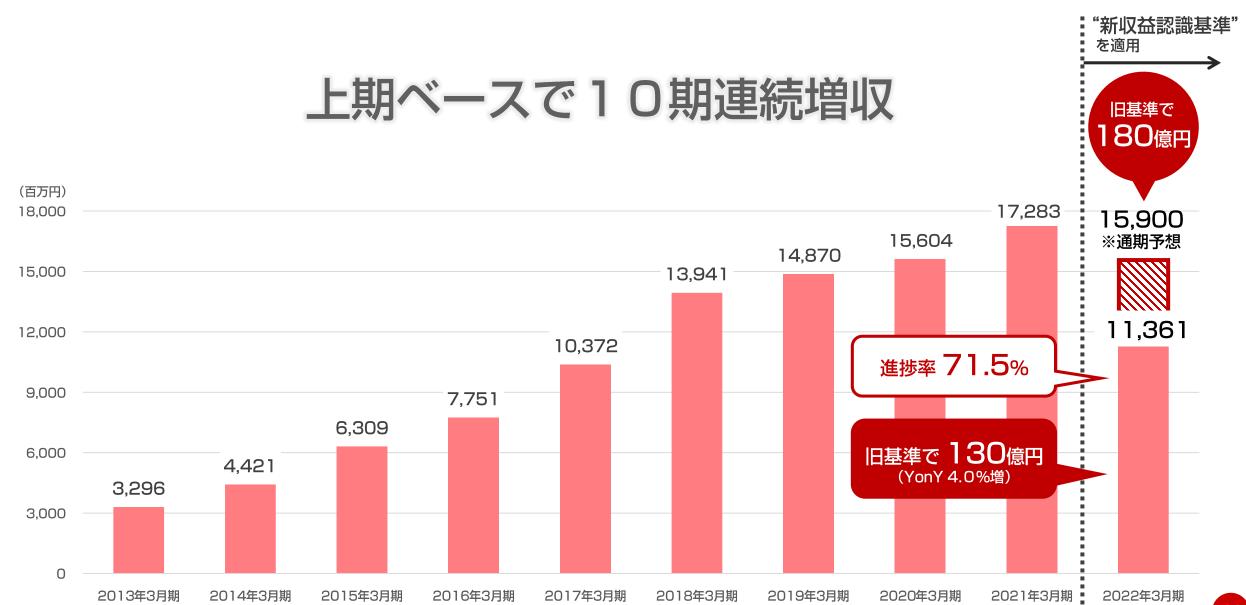
3.直近の決算概況~連結取扱高の推移(年度)





3.直近の決算概況~連結売上高の推移(年度)





(参考) 取扱高

22,022



(旧基準ベース)

対前年同四期比増収・減益、通期予想は据え置き

(百万円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	対前期増減率	2022年3月期 予想	通期予想に 対する進捗率
売上高 ※カッコ内は旧基準	12,531	11,361 (13,036)	△ 9.3 % (4.0%)	15,900 (18,000)	71.5 % (72.4%)
営業利益	616	436	△29.2%	1,000	43.7%
経常利益	620	446	△28.1%	1,000	44.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	347	241	△30.4%	660	36.7%

+35.7%

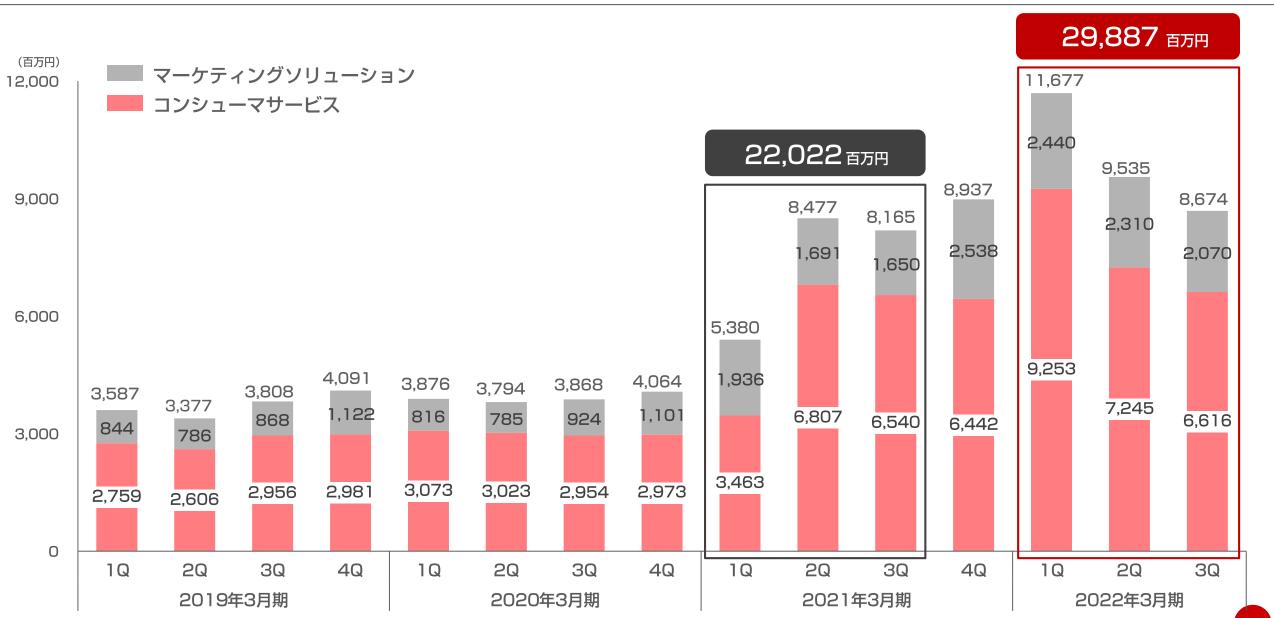
29,887

74.7%

40,000

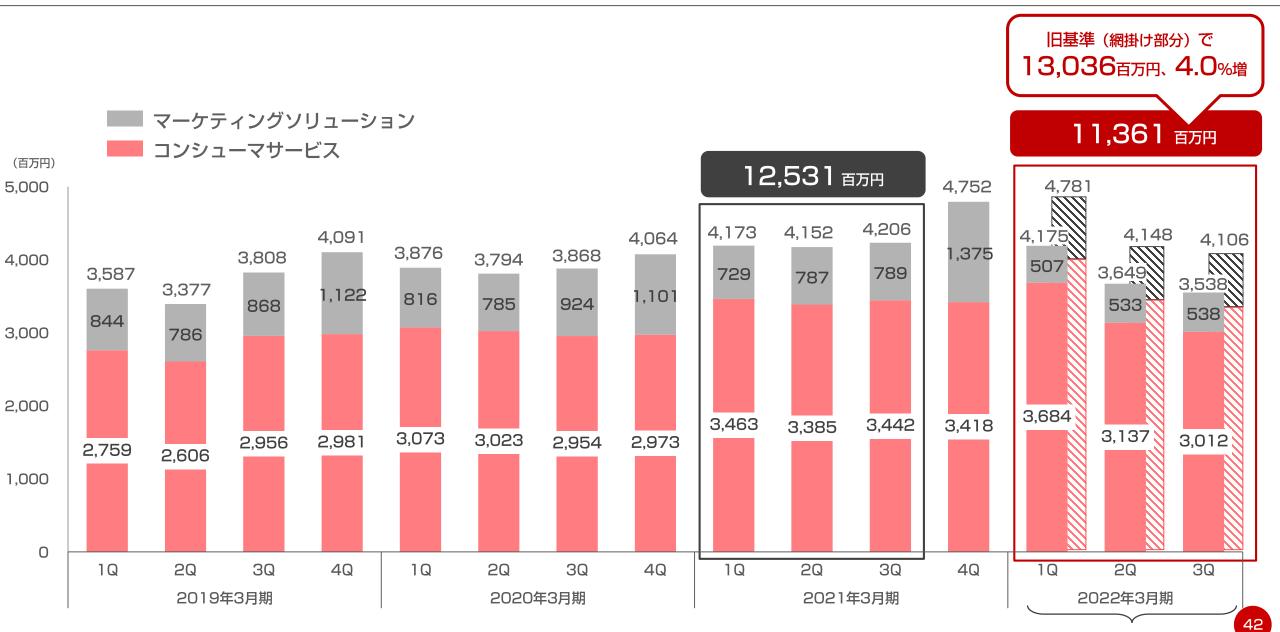
3.直近の決算概況~連結取扱高の推移(四半期)





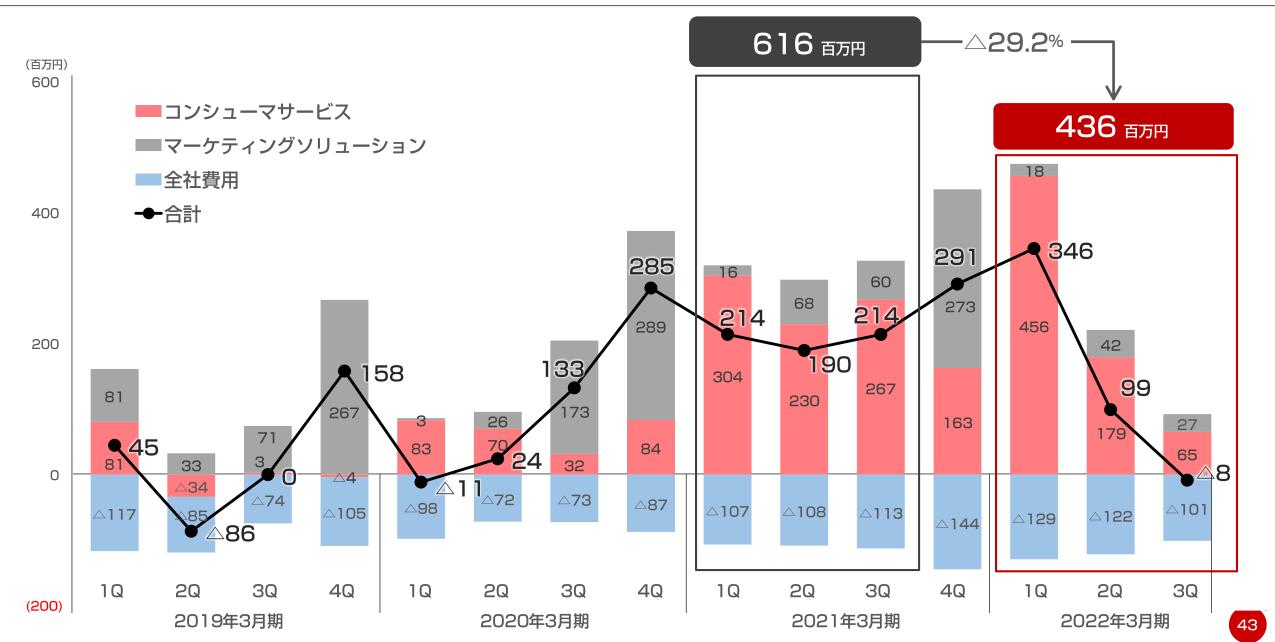
3.直近の決算概況~連結売上高の推移(四半期)





3.直近の決算概況~連結営業利益の推移(四半期)





連結貸借対照表



【資産の部】 (百万円)

	2021年3月末	2021年12月末	差異
流動資産	6,031	1 6,192	160
固定資産	1,448	2 1,644	196
資産合計	7,479	7,836	356

【負債の部】

流動負債	2,756	3 2,838	82
固定負債	41	113	71
負債合計	2,797	2,951	154

【純資産の部】

株主資本	4,307	4,503	4 196
新株予約権	6	6	△0
非支配株主持分	368	372	4
純資産合計	4,681	4,884	202

■2021年12月末残高の内訳(差異)

①流動資産

・現金及び預金 2,679(△33)

・売掛金 1,412(△384)

・未収入金 1,512(+511)

・商品及び製品 435(△11)等

②固定資産

・有形固定資産 276(+234)

・無形固定資産 708(+34)

・投資その他の資産 659(△73) 等

③流動負債

・買掛金 982(△81)

・未払金 1,398(+338)

・未払費用 290(+43)

·未払法人税等 37(△210)等

4株主資本

主な増減

・親会社株主帰属当期純利益 +241

· 配当実施 △94

・自己株の処分 +42等

連結キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2021年3月期 通期	2022年3月期 上期	
営業活動による キャッシュ・フロー	808	1 517	
投資活動による キャッシュ・フロー	△605	2 △222	
財務活動による キャッシュ・フロー	98	3 △87	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	301	208	
現金及び現金同等物の期首残高	2,411	2,712	
現金及び現金同等物の 当期末残高	2,712	2,920	

■2022年3月期上期の内訳

①営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益 +426

減価償却費等 +118

・売上債権の増減 +461

・その他の増減額 △212

・法人税の支払額 △276等

②投資活動によるキャッシュ・フロー

·有形固定資産取得 △209

・無形固定資産取得 △122

・敷金の回収による収入 111等

③財務活動によるキャッシュ・フロー

・配当金の支払額 △94等



コロナ禍影響が続く中、今後の非連続な成長イメージに向け積極投資を継続しながら も実質増収^{※3}増益に。来期以降の更なる収益貢献を図る

(百万円、%表示は、対前期増減率)

	2021年3月期 実績 収益認識基準適用:無	2022年3月期 予想 収益認識基準適用 上段:有、下段:無	増減	
売上高	17,283	15,900	△1,383	△8.0%
		18,000	717	4.1%
営業利益	909	1,000	91	9.9%
経常利益	917	1,000	83	9.0%
親会社株主に帰属する 当 期純利益	500	660	160	31.9%

マーケティングソリューション

PrimeAd等の戦略事業の収益化と主力事業の復調により実質増収*3・増益

コンシューマサービス

サンプル百貨店等の売上高と限界利益の継続向上、 またdショッピング収益の加算により実質増収*3・増益

^{※1}通期の配当予想は未定です

^{※2} 業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします

^{※3 2022}年3月期より収益認識に関する会計基準を適用したものとして予想値を算出しております。 それにより従来の基準と比較して、2022年3月期の売上高予想値が21億円小さく表示されます。



■環境の変化とグループの成長領域

社会

- ・経済発展と持続可能な社会の両立
- ・ネットワーク&デバイス、テクノロジーの非連続な進化 (生活者) withコロナ時代の新しい生活様式/(企業) DXの推進

ソリューションマーケティング

DX化の推進と デジタルマーケティング へのシフト ・PrimeAdによる コンテンツマーケティングのDX推進

・メディアのサービス化による アクション機能の強化

サービス

・eコマース化率の上昇 ・オフ/オンラインコマースの融合 トライアルマーケティング& コマースの進化

新規

- ・国と企業が中心の社会システムから 個人が自立する社会システムへの転換
 - ・テックベンチャーの勃興

- ・個人の自立支援
- ・テックベンチャーへの グロースサポート



■新規領域

ライフアセットマネジメント領域で3つ目の柱となる新たな事業を実現







■ テックベンチャー投資のさらなる拡大

ヘルステック/フィンテック キャリアテック

















民泊支援

グローバル



SAMURAI INCUBATE

アフリカ



東南アジア・インド



■事業展開

ソリューションマーケティング

現状



自社メディア ビジネス

今後

自社メディア ビジネス



プラットフォーム ビジネス Prime∧d

コンテンツコマース Best One

動画・SNS・インフルエンサー マーケティング





サービスマ



自社サービス

トライアル マーケティング

自社サービス

トライアル マーケティング



ECプラットフォーム

dショッピング

マーケティングソリューション

新規

ライフアセットマネジメント領域における (マネー、ウェルネス、キャリア、人間関係) 新規プラットフォームビジネス

テックベンチャー投資ビジネス

4.業績見通し~来期以降の戦略・成長イメージ



来期の主な投資項目

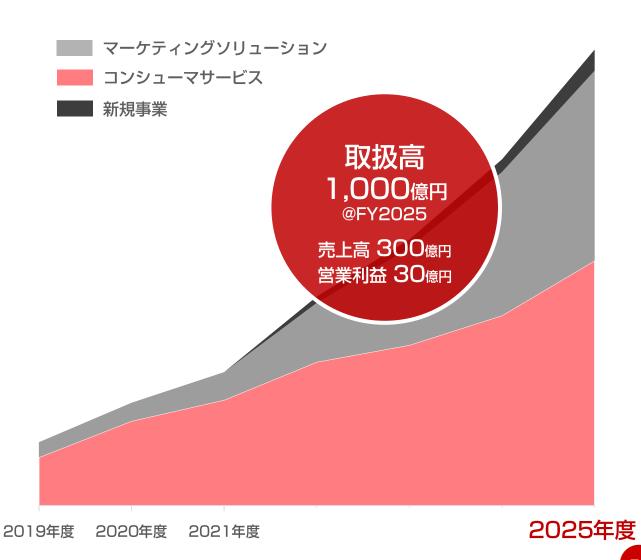
- a. PrimeAd
- b. ドコモ経済圏を筆頭に多チャネル でのトライアルマーケティング& コマースの取扱高成長
- C. テックベンチャー投資 (お金・健康・キャリア領域)

数億円程度の 投資額を予定

中期的な成長イメージ

- ✓ 総じて、直近1~2年 (2022~2023年度) は、 取扱高・投資項目調整後利益の増大を目指す。
- ✓ 営業利益については直近1~2年では横ばい、 もしくは減益の可能性。
- ✓ その後、大きな利益向上を目論む。 (2024~2025年度をイメージ)

■成長イメージ(取扱高)



5.株主還元施策



剰余金の配当

1株あたり配当金

3円00銭

2020年3月期

2021年3月期



直近では配当性向20%程度で推移

株主優待制度の強化・継続

【オールアバウトプレミアム優待倶楽部】



【ポイントと交換可能な商品のイメージ】



総合利回り最大4.07% (2021年11月末時点)

6.ESG/SDGsの取り組み

6.ESG/SDGsの取り組み



■オールアバウトグループのビジョンとSDGsの関係性

持続可能な社会の実現と 経済的な豊かさの両立が 求められる

そのために

個人の意識改革(自立) と 企業の取り組み改善 が必須

【グループミッション】



個人を豊かに、社会を元気に。

個人のチカラをベースに、世の中の不合理・不条理をなくし 既存の情報流・商流・製造流や社会システムをあるべき姿に変える イノベーションプラットフォームとなることで、

経済的発展と持続可能な社会の両立に貢献する。

生活者が

「不安なく、賢く、自分らしく」

生きるための各種サービスを提供

All About

凯百賞店

dショッピング

PrimeAd

楽習フォーラム

WELCOME TO SO

ツイナピ citrus

Best One







■グループでのSDGsの取り組み~その2









地方 創生

農林水産省

2020年度、 "滞留ソリューション" を通じて 約54億円相当の食品ロス削減に貢献。 農林水産省が推進する

「未利用食品の販売を促進するビジネス」 として紹介。



地方創生 SDGs 官**※**民連携 プラットフォーム

内閣府が設置した「地方創生SDGs官民連携 プラットフォーム」に参画。

サンプル百貨店の"直送プラットフォーム"を提供し、地方自治体や関連企業の取組みの活性化に貢献。

6.ESG/SDGsの取り組み



■グループでのSDGsの取り組み~その3

国内の様々なSDGsの社会実装を支援するプラットフォーム

「Collective Action Japan」を開始

人的ネットワークの拡大、知識の蓄積で土台 づくりスタート。人や組織をつなぐプラット フォームを作ることや情報発信において 行政案件獲得も含めたマネタイズを目指す。

環境省からの受託事業として 「STOP!食品ロス」プロジェクトを実施







個人を豊かに、社会を元気に。



参考資料



■ベストが見つかるおすすめ情報メディア「Best One」

アクション領域での新ビジネス "コンテンツコマース"



人気の商品・サービスをランキング形式で紹介。 失敗しない選び方をはじめ、比較表や専門家の コメントを参考に、お気に入りの1つを 見つけることができます。

【掲載記事例】





獣医師が選ぶ!キャットフード の人気メーカーとおすすめ17 選



■専門家が愛用するモノ・サービスの紹介メディア「イチオシ」

NTTドコモとの共同運営



「All About」に所属する「ガイド」のほか 様々な分野のインフルエンサーが、普段から愛用 しているモノ・サービスを"1つだけ"厳選し、紹介



イチオシ公認の YouTuberとの 連携も強化中!

D2C事業も開始 第一弾商品として 「まな板」を販売





■Facebook公認ナビゲーションサイト「Facebook navi」



2011年6月より国内唯一の Facebook公認ナビゲーションサイト 「Facebook navi」と 「Facebook navi」のFBページを運営







■Twitterのナビゲーションサイト「ツイナビ」



Twitterで話題のツイートや 動画が楽しめるサイト

話題になった情報やツイートまとめのほか、 思わず試したくなるライフハックやハウツー 情報をオリジナル制作の短尺動画で紹介。

Twitter黎明期から公式ナビゲーションサイトとして活動し、総記事数は40万本以上。

ライフハック系

ワインのシミが 簡単にとれる!

簡単ひと手間系



生涯学習事業



■楽習フォーラム

日本最大級の教室ビジネス・協会ビジネス 支援プラットフォーム





様々な分野の専門家のノウハウを 教育プログラム化し認定インストラクター ビジネスを展開

食・花・クラフトを中心に66講座・全国1万5千人の 認定インストラクターをネットワーク

オウンドメディア「About All About」



2017年春より広報グループが中心となって制作しているオウンドメディア「About All About」。経営陣がいま考えていることのほか、会社の成長に寄与したキーパーソンへのインタビューなど、多数のコンテンツを掲載しています。毎週金曜更新。

















